

事業評価シート

事務事業名	すこやか子育て支援事業	担当課名	幼児教育課
総合計画の 主要施策名	子育て支援の充実	班 名	幼児総務班
		事業コード	3322

事業の目的	子育て家庭の経済的負担を軽減することにより、安心して子どもを産み育てることができるような環境を整え、乳幼児のすこやかな育成を図る。			
事業の内容	平成21年4月1日以前に生まれた0歳児を在宅で保育している保護者に、乳児養育支援金として月額5千円を支給する。			
事業の対象	乳児養育支援金...満1歳未満の対象児童を在宅で保育している保護者			
事業費	年度・区分	平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度予算
	金額	14,110 千円	2,768 千円	千円

事業の効果等	名称	単位	H20年度実績	H21年度実績	H22年度(予定)
	乳児養育支援金支給人数	人	296	89	

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
判定説明 及び考察	乳児養育支援金については、県が19年度までに出生した乳児のみを助成対象とする経過措置を残して事業を廃止する中、町では経過措置を拡大し20年度までに出生した在宅で保育される乳児を助成対象として事業を実施した。乳幼児支援金は経過措置の満了となる21年度をもって廃止することとなるが、21年度より0歳からも保育料助成が開始されたことなどから、子育て家庭の経済的負担を軽減することに貢献できたものと評価できる。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり。
------	---	--------	-----------